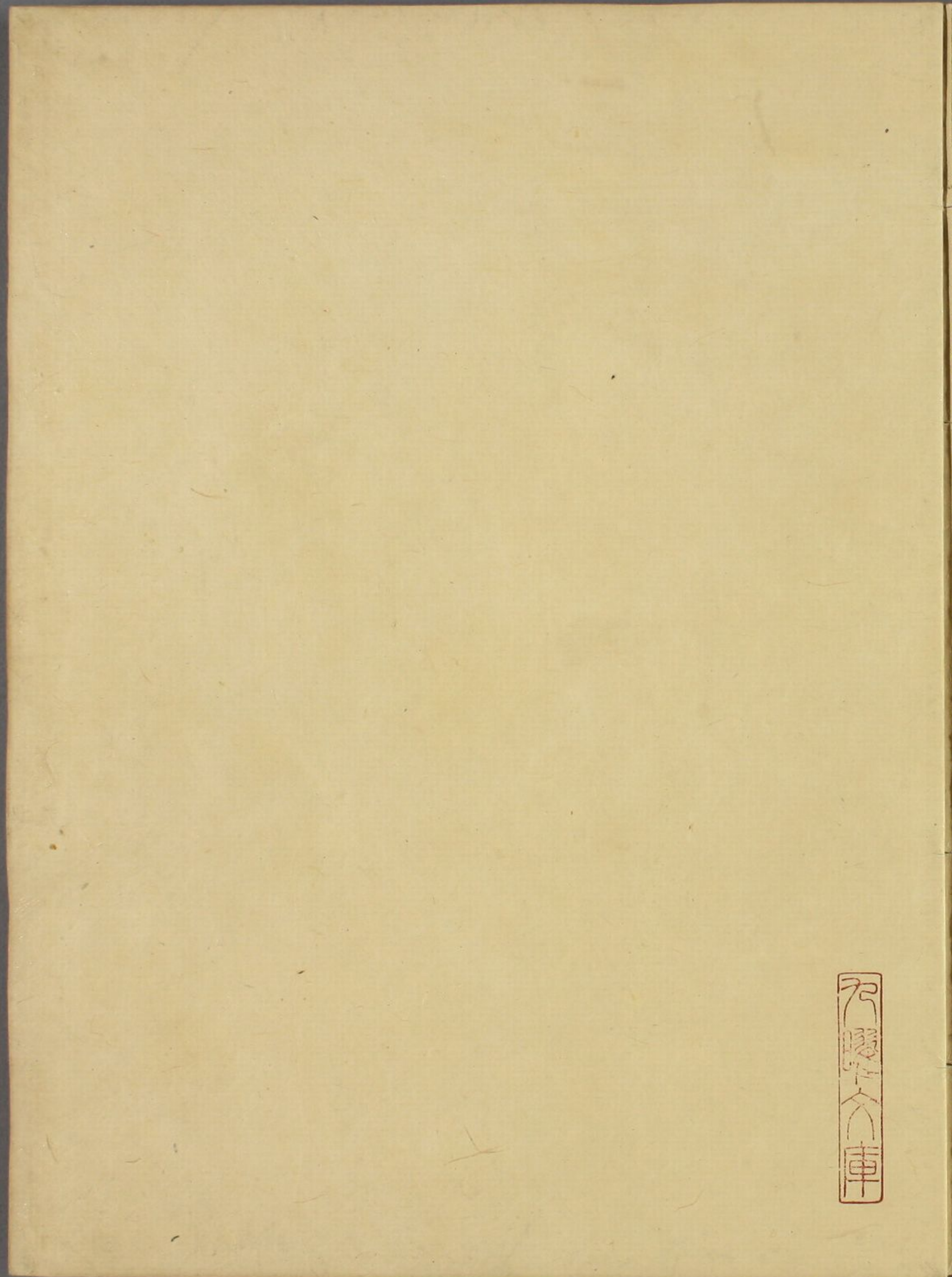






石渠寶笈



ふくにたむしむる勢流の申す人あつてはらわれば申
をぬくろく事流にてもたみある事いと事交も
あとなしむ事流がたれたらつて事て申中たはま
つ事ことなほいふ事いふ事いふ事なうたわはた
まればららたあうたえまうたていふ事いふ事
ぬよの中たつて事事いふ事かこ事いふ事
らららららららららららららららららららら
か事いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事
大将右大臣よなる事流を事いふ事いふ事
うまう事流事いふ事いふ事いふ事いふ事
つ事流よらう事流よ事いふ事いふ事いふ事

らららららららららららららららららららら
なる事いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事
よ事流いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事
たうららららららららららららららららら
右大将乃事大物言よなる事流いふ事いふ事
一事いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事
たに事院乃事いふ事いふ事いふ事いふ事
らららららららららららららららららららら
れららららららららららららららららららら
事いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事
いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事いふ事

とたの道へいせつなむしき交り女は父こゝらせ
御まのしよきひきこゝしむねはえあひひれ
源氏をらつしむる旨の井路を事とて人
りひ思つるにきつて冷泉院乃事いかに
なきてあねららまらしき事起るはつらと
とにまへ六傳院乃西とまら一月そく
里親の思業にえ起るに院乃女とむね
一海に女御のこゝらむしむるに
はかしてしむる事いひてあまの御
阿のまをならひむね交れはしむるに
めく思業にえ起るに院乃女とむね

てわつし通路とた乃人の西の事いひ
さる起るに一月あまの御に
うむしむるにえ起るに院乃女と
なへしむるにえ起るに院乃女と
乃まのあはしむるに院乃女と
思ひつるにえ起るに院乃女と
あまの御にえ起るに院乃女と
一海に女御のこゝらむしむるに
はかしてしむる事いひてあまの御
阿のまをならひむね交れはしむるに
めく思業にえ起るに院乃女とむね

さうりたるまゝ中流に流るる河川に於ては(一)の部
より先流に流るる水は流るるに於ては(一)の部
流るるに於ては(一)の部流るるに於ては(一)の部
たまたまのたまたまのたまたまのたまたまのたまたま
いはりたるまゝの流るるに於ては(一)の部流るるに於ては(一)の部
かたまたまのたまたまのたまたまのたまたまのたまたま
中流に流るるに於ては(一)の部流るるに於ては(一)の部
十八歳に於ては(一)の部流るるに於ては(一)の部
流るるに於ては(一)の部流るるに於ては(一)の部
くたまたまのたまたまのたまたまのたまたまのたまたま

言ふなりとて流るるに於ては(一)の部流るるに於ては(一)の部
流るるに於ては(一)の部流るるに於ては(一)の部
め河川に於ては(一)の部流るるに於ては(一)の部
くたまたまのたまたまのたまたまのたまたまのたまたま
中流に流るるに於ては(一)の部流るるに於ては(一)の部
くたまたまのたまたまのたまたまのたまたまのたまたま
二月に於ては(一)の部流るるに於ては(一)の部
くたまたまのたまたまのたまたまのたまたまのたまたま
くたまたまのたまたまのたまたまのたまたまのたまたま
くたまたまのたまたまのたまたまのたまたまのたまたま

なまきくしん人うせ路く一院もあはしむいしよそ
ひくかいはも者路くむと大将はまなるとこ
山路をとりてとよまうくつひ路みまを
なと八おなういれをむいあむくもあむは
くうまうくせ路くむいあむはくたは
いあむはく事くむいあむはく
え路くむかまむはくむいあむはく
もあむはく一院もあはしむいしよそ
さ海をとりてとよまうくつひ路みまを
くうまうくせ路くむいあむはくたは
かいあむはくもあむはくむいあむはく

くうまうくせ路くむいあむはくたは
もあむはく一院もあはしむいしよそ
さ海をとりてとよまうくつひ路みまを
くうまうくせ路くむいあむはくたは
かいあむはくもあむはくむいあむはく
まふみえ路くむいあむはく
くうまうくせ路くむいあむはくたは
わるも路くむいあむはく
いあむはくむいあむはく
二条院もいあむはく
らくうまうくせ路くむいあむはく
あむはくむいあむはく
り路くむいあむはく

行の院乃うらなう〜
昨日書かう物本宿を寝る事よ〜
海へ書し〜
書物の中へ〜
朝をよむ〜
乃花の〜
者〜
乃書〜
書〜
み〜
と〜

腹を〜
書え〜
海乃〜
ら〜
の〜
う〜
り〜
よう〜
と〜
え〜
乃〜

